

令和7年度 公立学校における帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業 実施体制（横須賀市教育委員会）

【市役所、学校】

児童生徒が
横須賀の学校へ就学
↓
日本語支援ステーションの案内

【日本語支援ステーション】

日本語支援ステーションで
児童生徒、保護者に対し、国際教育コーディネーター、ステーションマネージャーが就学時ガイダンス、日本語習得状況アセスメント等の実施

【日本語支援ステーション、学校】

日本語支援ステーションで
日本語初期集中指導を実施

- ・1日2時間×10日間
- ・サバイバル日本語の指導

学校生活適応支援員の学校派遣

- ・1回3時間×12日間
- ・児童生徒の学校生活への適応支援

日本語指導員の学校派遣

- ・週1回1時間 原則2年間
- ・サバイバル日本語、日本語基礎の指導

【学校】

校内体制による支援

- ・安心できる居場所としての教室環境作り
- ・自信を育てる取り組みの工夫
- ・ユニバーサルデザイン化された授業
- ・学習支援員による個別支援
- ・ボランティア・学生チューターの活用
- ・多文化共生教育の理解促進
- ・国際教室による学習・日本語支援

地域の日本語教室・学習支援教室

- ・国際交流協会による日本語講座
- ・ボランティア団体による学習支援

国際教育コーディネーター、ステーションマネージャーの配置 【日本語支援ステーション】

- 就学前ガイダンスの実施（日本の教育制度について、児童生徒・保護者の理解が進み、学校への適応や、日本語学習や教科学習への意欲向上）
- 就学時ガイダンスの実施（日本の教育制度について、児童生徒・保護者の理解が進み、学校への適応や、日本語学習や教科学習への意欲向上）
- 教育相談の実施（適時適切な支援の実施。児童生徒への支援に加え、保護者への支援の充実）
- 進路ガイダンスの実施

『目標』

- 日本語指導を要する児童生徒への支援を充実させる。（各種ガイダンスの実施。日本語初期集中指導の実施。指導員、支援員の学校派遣）
- 日本語指導、支援に係る教員・指導員・支援員の資質を向上させる（研修の実施）
- 就学から卒業までの継続的な支援体制づくり（各種ガイダンスの実施。教育相談の実施）。